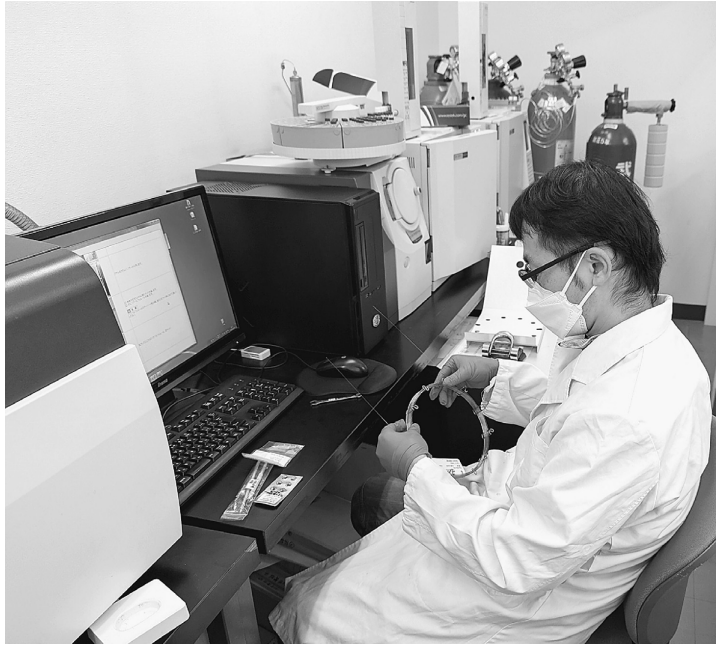


農民連食品分析センター

残留農薬分析装置 更新・強化 (GCMS) のための協力のお願い



GCMS (右奥の3台) で残留農薬を分析するセンターの職員



農民連食品分析センター所長
八田純人

食の安全を守る運動で大きな役割を果たしている農民連食品分析センター。新しい分析機器購入のため緊急募金を呼びかけています。同センター所長の八田純人さんが寄付への協力を訴えます。

食品衛生を前進させる力に

農民連食品分析センターでは、昨年11月から機能強化のための緊急募金のとりくみをはじめ、分析センターは、1996年に、生産者と市民の募金による設立以来、機器や設備のほぼ全てを募金で導入し、日本の食を守るとりどとして活動してきました。学校給食・パンに残留するポストハーベスト農薬

老朽化で機能低下の危機

しかし開設から28年がたち、機器などの老朽化が進み、さまざまな場面で更新が求められる状況になりつつあります。

昨年8月には、ついに農業検査に欠かせないガスクロマトグラフ質量分析計(GCMS)が老朽化のため稼働困難となつてしまいました。

GCMSは輸入食品の監視をはじめ、国産農産物の品質と生産技術向上のために、18年休むことなく活躍

してきた装置です。この装置を失えば、分析センターの検査・監視能力が大幅に低下することは避けられませんが、代替機の導入と設備更新がすぐにも必要ない状況にあります。現在、緊急で代替機の手配を進めています。そのため2025年3月までに1000万円の資金が必要と

市民のための科学分析施設として

GCMSを更新・強化できれば

農業検査がより高感度高精度に
PFAS検査能力強化

2025年3月までに目標額達成が必要とす
1000万円

(農民連食品分析センターHPより作成)

- 〈募金振込先〉
- ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へ入金の場合
 - ・口座番号：00110-9-391416
 - ・加入者名：一般社団法人農民連食品分析センター
 - 銀行からゆうちょ銀行へ振り込む場合
 - ・銀行名：ゆうちょ銀行
 - ・口座種別：当座
 - ・店名：〇一九
 - ・口座番号：0391416
 - ・加入者名：一般社団法人農民連食品分析センター
 - オンラインで募金の場合
 - https://congrant.com/project/bunseki/13639
 - 〈問合せ〉
 - 農民連食品分析センター
 - 電話03(5926)5131

【訂正】1月1日号7面の気候対策の記事で、6段目右下「気候科学者機関IPCCは」に続く文章が「1・2度」とあるのは、「1・5度」の誤りでした。

山奥の開拓地に一家で入植



一家で越した長田地区の開拓地

1946年1月、私たち家族は、上海から両親の故郷である宮崎県三股町に無一文で引き揚げてきました。父の実家には、祖母と父の弟である、まだ中学生の叔父が暮らしていました。数年前に祖父を亡くしたばかりの祖母は、少ない田畑を耕し暮らしており、私たちは、その家に長くは居られませんでした。その頃、多くの引き揚げ者が住む家や仕事を求めていたため、国や自治体は山を開墾して食糧需給を図る政策をとっていました。私たち家族もその政策のもとで、母親の実家近くにある同町長田地区の山奥の開拓地に引っ越し、田畑を開墾しました。両親は慣れない力仕事で、本当に大変だったと思います。私たち家族は食料不足の影響で、毎日のように木の芽やカボチャ、芋のツル、米ぬかが入ったスイートコーンを食べて暮らしていました。1947年4月、私は長田小学校に入学しましたが、学校まで歩いて1時間かかるため、私だけ父の実家に預けられ、三股小学校に通うことになりました。

母の歴史

聞き書き
宮崎県 上西祐子さんのお話 (2)

3032

女性のひろば

1月号発売中

- 新しい国会で要求実現の扉開こう 堀川あきこ 新衆議院議員に聞く
- 自衛隊 子ども・若者への浸透作戦 有田崇浩
- 離婚後共同親権 これからどうなる? 岡村晴美
- (新連載)暮らしを楽しむ小さなアイデア 大橋明子
- 手ぬいで着物リメイク 高橋恵美子
- ピースなにやん・わん 鹿児島 岩合光昭
- 息子とワタシ 細川昭々
- 生きる喜び・読む楽しみ 松本侑子

日本共産党中央委員会出版局 ☎03-3470-9636 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 定価316円(税込)

平塚らいてうが今、新しい



パンフレット
「平塚らいてうからのメッセージ」
頒価 300円
A5判 80ページ
発行 新日本婦人の会

「平塚らいてう・女性運動資料室」

東京都文京区/
開館:第2・第4火曜日 14:00~16:00/
申込:1週間前までにメール njwa@shinfujin.gr.jp
か FAX 03(3814)9441 で/
氏名、人数、所属、電話を明記

オンライン企画のご案内

老人医療有料化から42年
高齢者中央集会
日時:1月31日(金)
10時30分~13時
「権利としての社会保障」
講師:柴田 英昭
(立正大学社会福祉学部教授)
●WEB参加
https://x.gd/21gathering42

主催:中央社保協・
全日本年金者組合、
日本高齢期運動連絡会

国際婦人年連絡会 Zoom セミナー
**地震大国日本で なぜ
原発を止められないのか**
日時:2月8日(土)
10時~12時
講師:青木 美希 (ジャーナリスト)
●参加費 800円 (80名)
●事前申し込み(2月5日まで)
https://peatix.com/event/
4228745/view

主催:国際婦人年連絡会

